

# 2023年度決算説明会

(2023年4月～2024年3月)

開催日: 2024年5月29日

(東京都文京区小石川一丁目4番1号)

ジオスター株式会社

# 目次



1. 2023年度決算(P3~P13)
2. 2024年度業績予想(P14~P16)
3. 参考資料(P17~P25)

# 1. 2023年度決算



- ・2023年度の事業環境……………P4
- ・2023年度決算の概況……………P5
- ・連結決算概要……………P6
- ・受注高・受注残の推移……………P7
- ・連結貸借対照表概要……………P8
- ・連結主要経営指標……………P9
- ・キャッシュフロー計算書概要……………P10
- ・設備投資・減価償却の推移……………P11
- ・2023年度・期末剰余金の配当……………P12
- ・配当金の推移……………P13

# 2023年度の事業環境



## 【土木事業】

- 公共投資は堅調に推移。

今後の先行きについても補正予算の効果もあり、底堅く推移することが見込まれる。

但し、以下の点は注視が必要である。

- 大型セグメント案件の掘進時期が不透明。

- 鉄筋、セメントをはじめとする諸資材の高止まり、人手不足による人件費上昇、2024年問題を契機とした物流費の高騰懸念。

# 2023年度決算の概況



- **事業環境への対応**
  - ・引き続き主力のセグメント製品の競争は激化。
  - ・大型セグメントのみならず、中小セグメントの受注・生産量を積み増す。
- **土木製品の受注拡大**
  - ・舗装版等差別化製品の受注拡大と新商品の開発。
  - ・技術提案力の強化により、収益力の強化に取り組む。
- **原価低減等の諸施策の継続。**

# 連結決算概要



(単位:百万円)

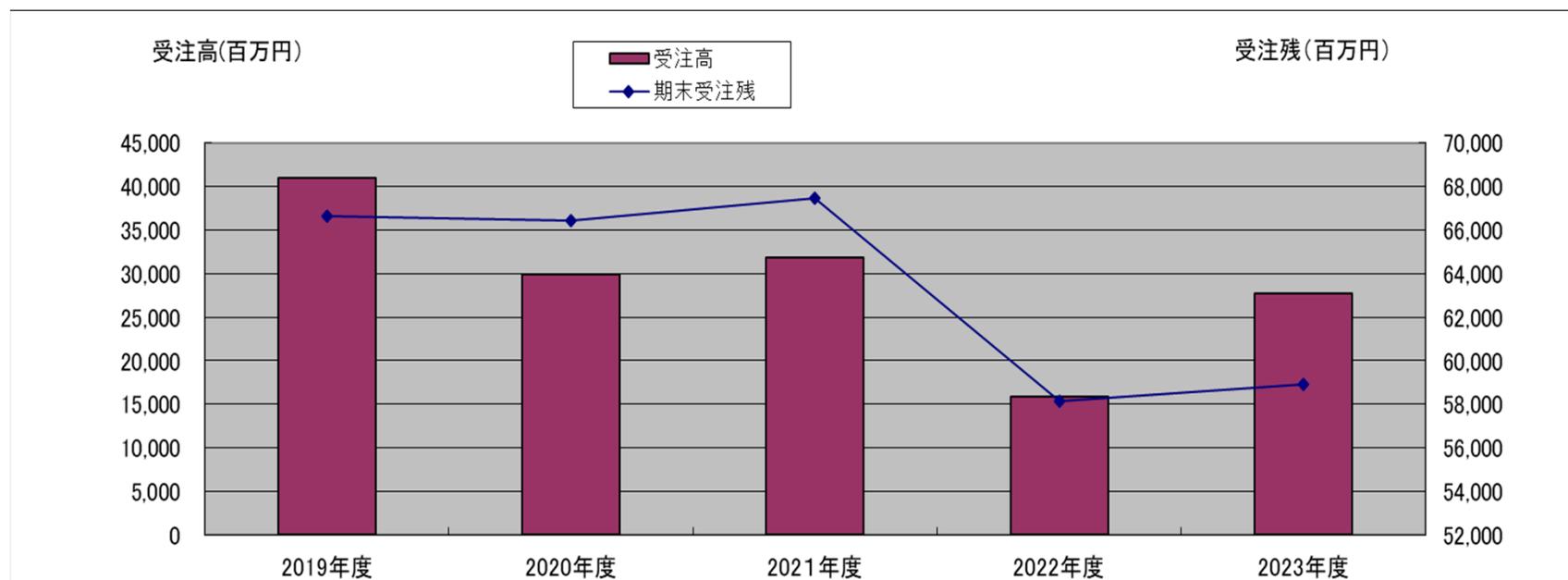
	2022年度 実績 A	2023年度 実績 B	前期比 C=B-A	増減率 C/A	2023年度業績予想公表値			
					2023年 5月12日	2023年 9月7日	2024年 2月9日	2024年 4月26日
売上高	25,236	26,910	1,673	6.6%	26,400	24,800	26,900	26,910
営業利益	1,522	1,831	309	20.3%	700	950	1,450	1,831
経常利益	1,543	1,852	308	20.0%	700	950	1,450	1,852
親会社株主に帰属する当期純利益	645	1,102	457	70.8%	400	560	800	1,102
配当(円)	中間	-	-	-	未定	0.00	0.00	0.00
	期末	6.00	11.00	5.00	未定	未定	8.00	11.00
	年間	6.00	11.00	5.00	83.3%	未定	未定	8.00

# 受注高・受注残の推移



(単位:百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
受注高	41,010	29,958	31,877	15,916	27,687
期末受注残	66,622	66,431	67,448	58,128	58,906



# 連結貸借対照表概要



(単位:百万円)

科 目	2022 年度	2023 年度	増減額	科 目	2022 年度	2023 年度	増減額
	A	B	B-A		A	B	B-A
現預金同等物	7,954	5,142	△ 2,812	支手・買掛金・未払	6,743	7,681	938
売上債権	7,021	10,276	3,254	長短借入金	330	330	—
たな卸資産	7,967	8,718	750	その他	5,587	5,436	△ 151
未収入金	1,353	2,294	941				
その他	563	290	△ 273	負債合計	12,661	13,448	787
流動資産合計	24,861	26,722	1,860	自己資本	21,884	23,318	1,433
有形固定資産	7,537	7,418	△ 119	利益剰余金	13,874	14,789	915
投資有価証券他	2,146	2,626	479	その他有価証券 評価差額金	278	789	510
				その他	7,731	7,738	7
固定資産合計	9,684	10,044	360	純資産合計	21,884	23,318	1,433
資産合計	34,545	36,766	2,221	負債純資産合計	34,545	36,766	2,221

# 連結主要経営指標



	2022年度	2023年度
自己資本当期純利益率 ( R O E )	3.0%	4.9%
総資産経常利益率 ( R O A )	4.4%	5.2%
売上高営業利益率	6.0%	6.8%
D/E レ シ 才	0.02倍	0.01倍
自己資本比率	63.3%	63.4%
有利子負債残高	339百万円	336百万円
期末総資産	34,545百万円	36,766百万円
期末自己資本	21,884百万円	23,318百万円

# キャッシュフロー計算書概要



2023年度は税金等調整前当期純利益は16億86百万円でありましたが、売上債権の増加等による営業キャッシュフローの減少によりフリーCFは26.2億円の支出となった。配当金の支払1.8億円により現金同等物は28.1億円減少し51.4億円。

(単位:百万円)

	2022年度 A	2023年度 B	増減額 B-A
税金等調整前当期純利益	1,277	1,686	409
減価償却費	682	681	△ 1
法人税	△ 1,068	△ 515	553
その他営業キャッシュフロー	3,274	△ 3,745	△ 7,020
投資キャッシュフロー	△ 817	△ 727	89
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>3,347</b>	<b>△ 2,620</b>	<b>△ 5,967</b>
借入金等 返済・調達	△ 40	0	40
支払配当	△ 437	△ 187	249
その他	△ 5	△ 4	1
<b>現金同等物 増減額</b>	<b>2,864</b>	<b>△ 2,812</b>	<b>△ 5,676</b>
現金同等物 期首残	5,090	7,954	2,864
現金同等物 期末残	7,954	5,142	△ 2,812

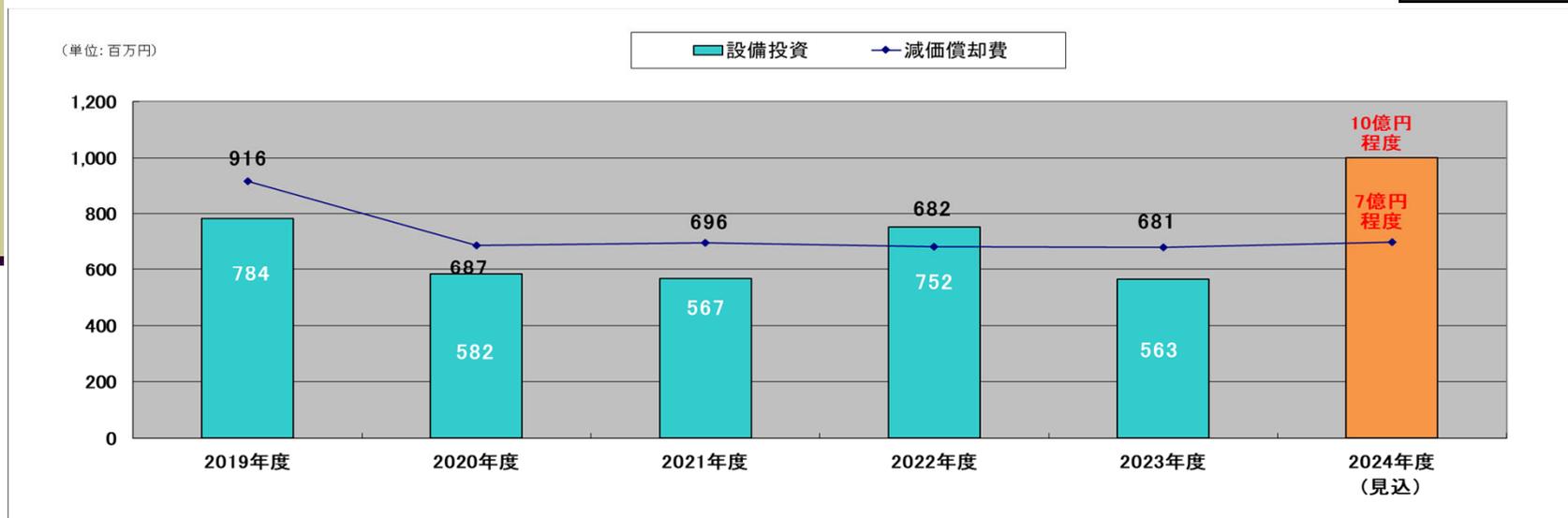
# 設備投資・減価償却の推移



2023年度は、5億63百万円の設備投資を実施いたしました。その主なものは、橋本工場のプロジェクト対応による設備投資となります。

(単位:百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (見込)
設備投資	784	582	567	752	563	10億円 程度
減価償却費	916	687	696	682	681	7億円 程度



# 2023年度・期末剰余金の配当



## 【利益配分に関する基本方針】

株主の皆様への利益還元方針をより明確化する観点から、2020年度の剰余金の配当から、利益配分に関する基本方針を見直し以下のとおりいたしました。

当社グループは適正な利潤の確保に努め、健全な発展と持続性を目指し、収益状況に対応した適正な配当維持に努力することを基本方針といたします。また、内部留保を充実し、企業体質の強化と将来の事業展開に備えたいと考えております。

収益状況に対応した適正な配当の指標として

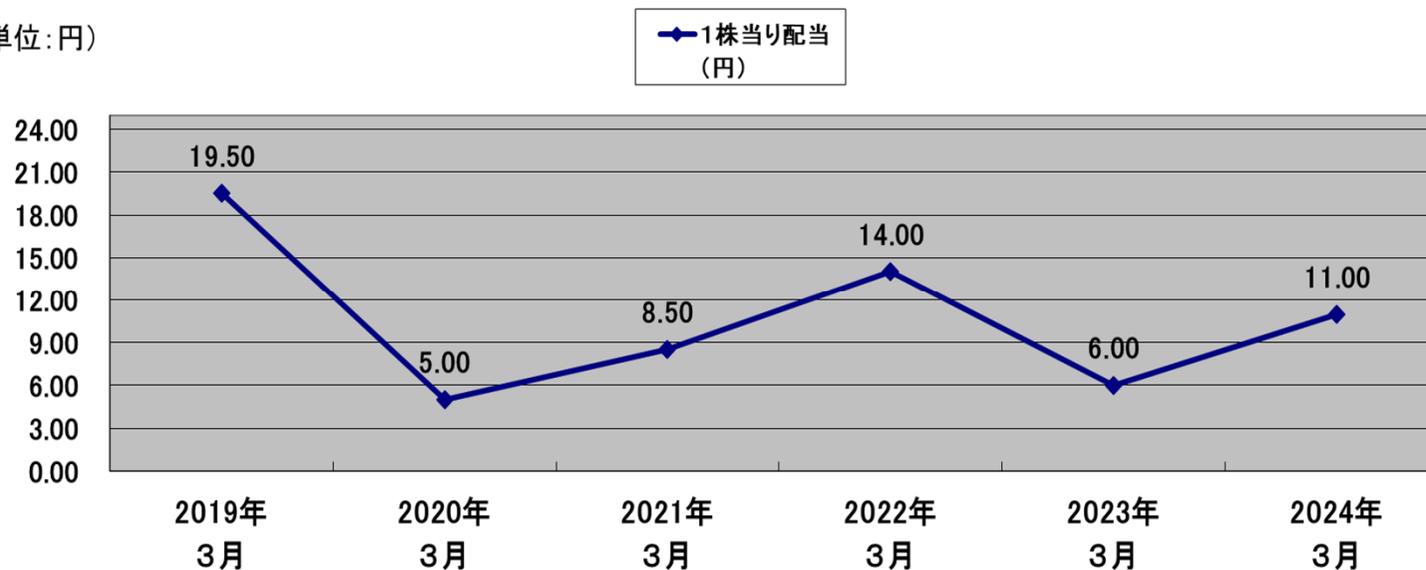
⇒**連結配当性向年間30%程度を目安とします。**

# 配当金の推移



決算年月	2019年 3月	2020年 3月	2021年 3月	2022年 3月	2023年 3月	2024年 3月
1株当り配当(円)	19.50	5.00	8.50	14.00	6.00	11.00
(内中間配当額)	(5.00)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

(単位:円)



## 2. 2024年度業績予想



- 2024年度の概況 ..... P15
- 2024年度業績予想 ..... P16

# 2024年度の概況



## ●事業環境

売上高は増加見込みであるものの、主力であるセグメント製品の競争は依然として厳しい状況であり、価格競争による収益率の低下と原材料価格・人件費・物流費等のコストアップにより、営業利益・経常利益は減益の見込み。

## ●対策

- ・主力のセグメント製品の受注・生産を積み増し、トップシェア維持。
- ・土木製品についても舗装版等差別化製品の受注拡大を図る。
- ・新規商品の開発・技術提案力の強化により、収益の確実な貢献を図る。
- ・徹底的な原価低減等の諸施策の継続実施。

# 2024年度業績予想



(単位:百万円)

	2023年度		2024年度			前期比	
	実績		業績予想(5/15公表値)			増減額	増減率
	A	比率	第2四半期 (累計)	通期 B	比率	C=B-A	C/A
売上高	26,910	100.0%	12,800	29,400	100.0%	2,490	9.3%
営業利益	1,831	6.8%	630	970	3.3%	△ 861	△ 47.0%
経常利益	1,852	6.9%	650	1,000	3.4%	△ 852	△ 46.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,102	4.1%	440	640	2.2%	△ 462	△ 41.9%
配当(円)	11.00	-	未定	未定	-	-	-

# 参考資料



- ・今後予定される主なプロジェクト
- ・ジオスターの地下空間  
セグメント製品  
土木製品

# 今後予定される主なプロジェクト



## 1.羽田空港アクセス線(国交省工区)

概要:羽田空港と東京都心を結ぶ鉄道新線のうち、羽田空港内を施工する鉄道トンネル(JR東日本工区と地中接合)

区間:羽田空港内(羽田空港新駅~東京貨物ターミナル方面)

延長:1.9キロ

完成予定:2031年

## 2.羽田空港アクセス線(JR東日本工区)

概要:羽田空港と東京都心を結ぶ鉄道新線のうち、東京貨物ターミナルから羽田空港内を施工する鉄道トンネル(国交省工区と地中接合)

区間:東京貨物ターミナル~羽田空港用地内

延長:2.3キロ

完成予定:2031年

### 3.鶴見調節池

概要:大雨による洪水に対応する地下トンネル式調節池

区間:大阪市城東区関目2～鶴見区横堤4付近を結ぶ地下トンネル

延長:1.8キロ

完成予定:2030年

### 4.有楽町線延伸

概要:有楽町線の豊洲駅から住吉駅までの地下鉄延伸工事

延長:4.8キロ

完成予定:2030年代半ば(開業)

### 5.南北線延伸

概要:南北線の白金高輪駅から品川駅までの地下鉄延伸工事

延長:2.5キロ

完成予定:2030年代半ば(開業)

## 6. 淀川左岸線延伸部

概要: 阪神高速2号豊崎出入口から近畿自動車道と第二京阪道路の門真JCTに接続する高速道路計画

区間: 豊崎IC ~ 門真JCT

延長: 8.7キロ

完成予定: 2032年

## 7. 京奈和自動車道 大和北道路

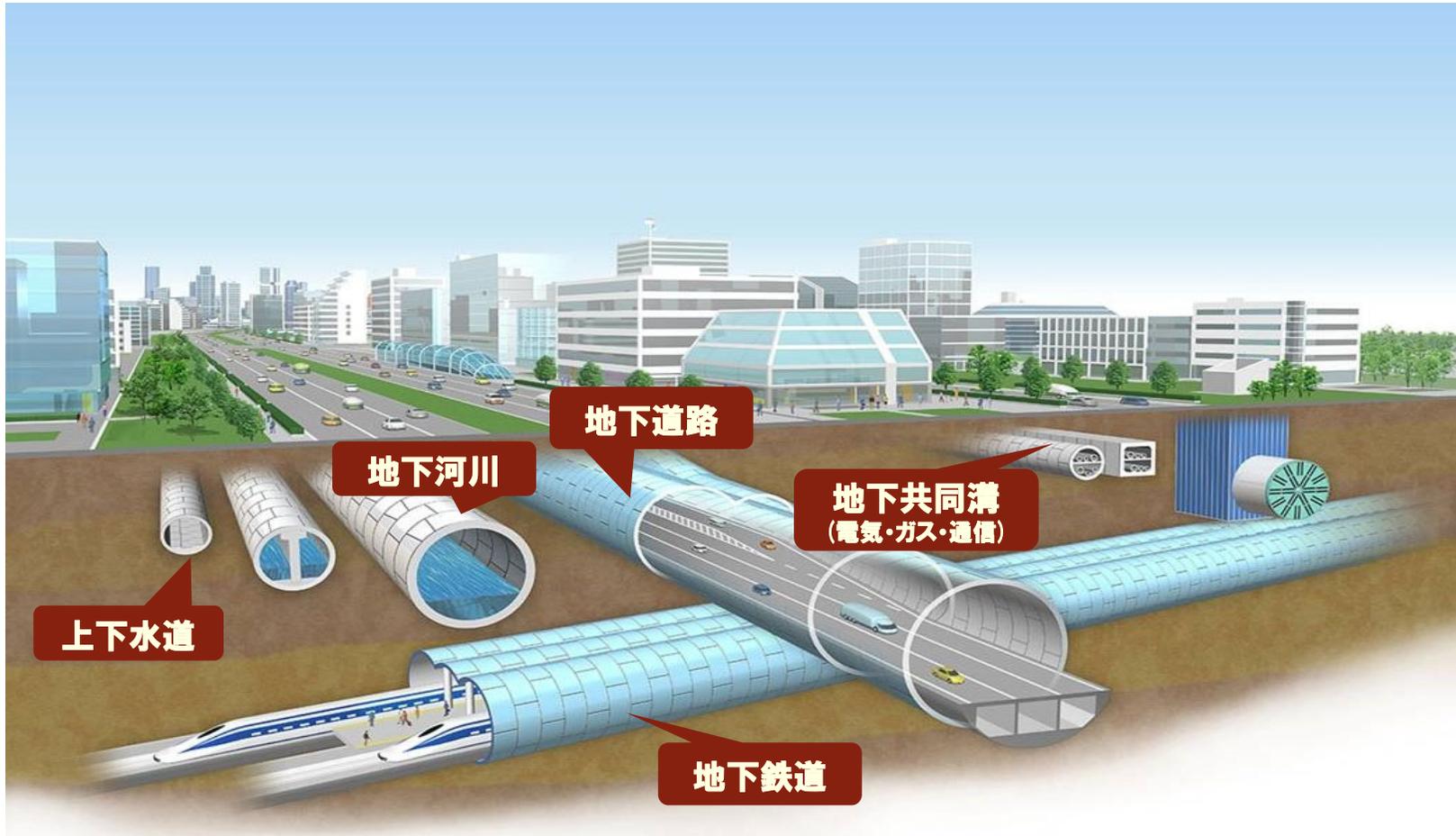
概要: 京奈道路の木津IC付近から西名阪自動車道までの区間延長約12.4キロの道路

区間: 奈良県奈良市歌姫町 ~ 奈良県大和郡山市横田町

延長: 12.4キロ(シールド6.1キロ、高架6.3キロ)

完成予定: 2030年

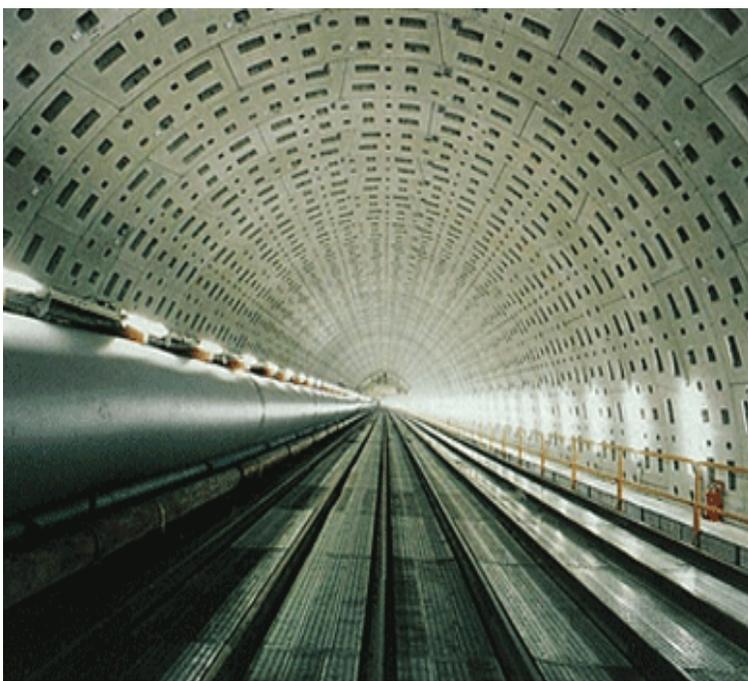
# ジオスターの地下空間



# セグメント製品



## ●RCセグメント

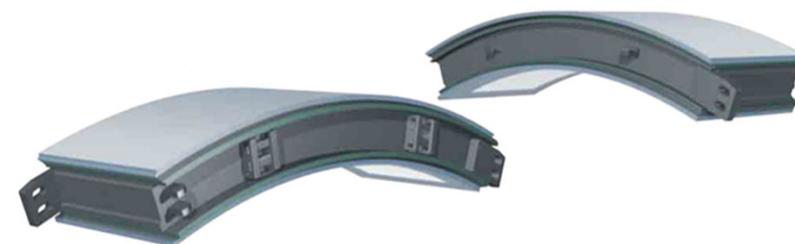


## ●スチールセグメント

## ●CPセグメント

## ●HCCPセグメント

## ●NMセグメント



# 土木製品



# 土木製品



- ボックスカルバート
- アーチカルバート
- L型部材
- 共同溝
- 防潮堤
- モジュラーチ
- ジオウエアボックス
- 矢板
- スラブ

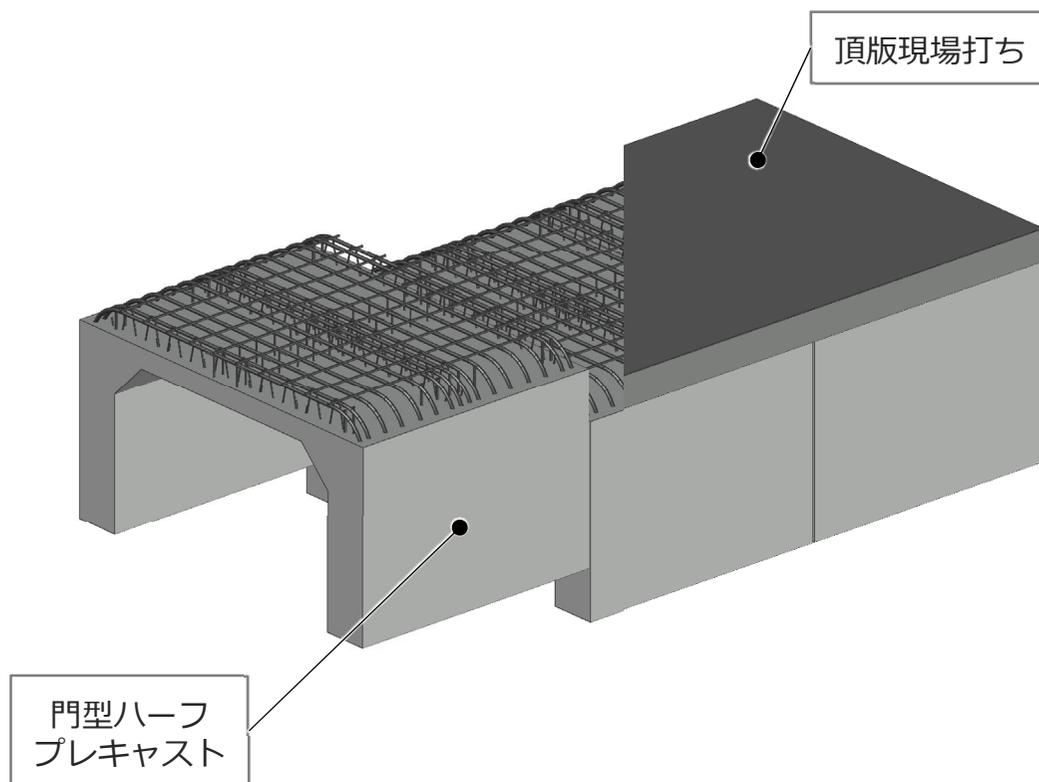


# トピックス

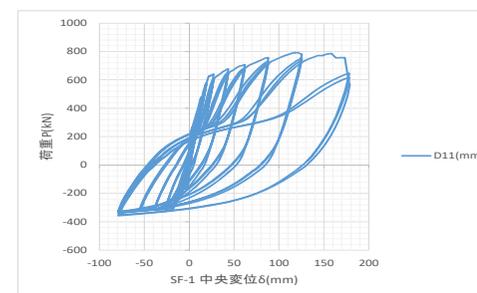
## 門型カルバートにおけるハーフプレキャスト構造の適用

急速施工が可能なハーフプレキャスト工法は、現場条件により短期工期が求められる工事に最適な工法です。当該ハーフプレキャストを用いたカルバートでは、短期工期に加えて、カルバート頂版の延長線上の一体化および気密性を高める為に、頂版の一部に場所打ちコンクリートを用いて実現します。これらを含めて従来工法よりも工期を短縮し、全体工事費のコスト低減にも寄与できるものと考えられます。

今回、写真に示す交番载荷実験を実施し、構造性能を確認した後、実際の現場に初適用を行いました。今後は、公共工事や民間工事の構造物の新設・更新工事等に適用を図って参ります。



頂版部加力実験状況



実験結果

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。